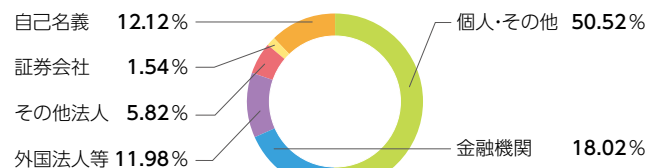


株式情報 (2016年9月30日現在)

株式情報

発行可能株式総数	150,000,000株
発行済株式総数	53,432,510株
株主数	16,673名

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
株主確定日	● 定時株主総会、期末配当金:3月31日 ● 中間配当金:9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社
同連絡先	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 TEL 0120-288-324 (通話料無料)
特別口座の管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第1部 証券コード:6143
公告の方法	電子公告により行う
(公告掲載URL)	http://www.sodick.co.jp/ir/f.html ※ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。

配当金の口座振込指定のご案内
現在、郵便局で「配当金領収証」と引き換えに配当金を受領されている株主様は、「銀行口座等への振込」を指定されますと、支払開始日に指定の口座に配当金が入金され非常に便利です。配当金の口座振込のお手続きがお済みでない株主様におかれましては、口座のご指定をされることをおすすめいたします。振込指定の詳細及び手続きにつきましては、右記の窓口までお問い合わせください。

大株主

株主名	名寄株式数(株)	持株比率(%)
株式会社ソディック	6,476,758	12.12
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,349,700	2.53
古川 利彦	1,195,975	2.24
有限会社ティ・エフ	1,150,000	2.15
ソディック共栄持株会	1,013,800	1.90
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	944,700	1.77
株式会社三井住友銀行	850,000	1.59
鈴木 正昭	742,260	1.39
株式会社北陸銀行	700,000	1.31
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	643,200	1.20

株式に関するお手続きについて

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)へお問い合わせください。株主名簿管理人(みずほ信託銀行)ではお取り扱いができませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、特別口座管理機関である左記三菱UFJ信託銀行連絡先にお問い合わせください。
- 未受領の配当金につきましては、みずほ信託銀行、みずほ銀行、みずほ証券の各本支店でお取り扱いいたします。 ※みずほ証券ではお取次のみとなります。

「単元未満株式買増、買取制度」を実施しております。

制度の利用の問い合わせについては、単元未満株式が記録されている口座によって窓口が異なります。詳細は以下の窓口までお問い合わせください。

- 単元未満株式が記録されている口座が証券会社の口座
→ 口座を開設している証券会社
- 単元未満株式が記録されている口座が特別口座
→ 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
TEL 0120-232-711 (通話料無料、土・日曜、祝日を除く9:00～17:00)

- 証券会社に口座をお持ちの場合
→ 口座を開設している証券会社
- 証券会社に口座をお持ちでない場合
→ 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
TEL 0120-232-711 (通話料無料、土・日曜、祝日を除く9:00～17:00)

株式会社 ソディック

東証1部:6143

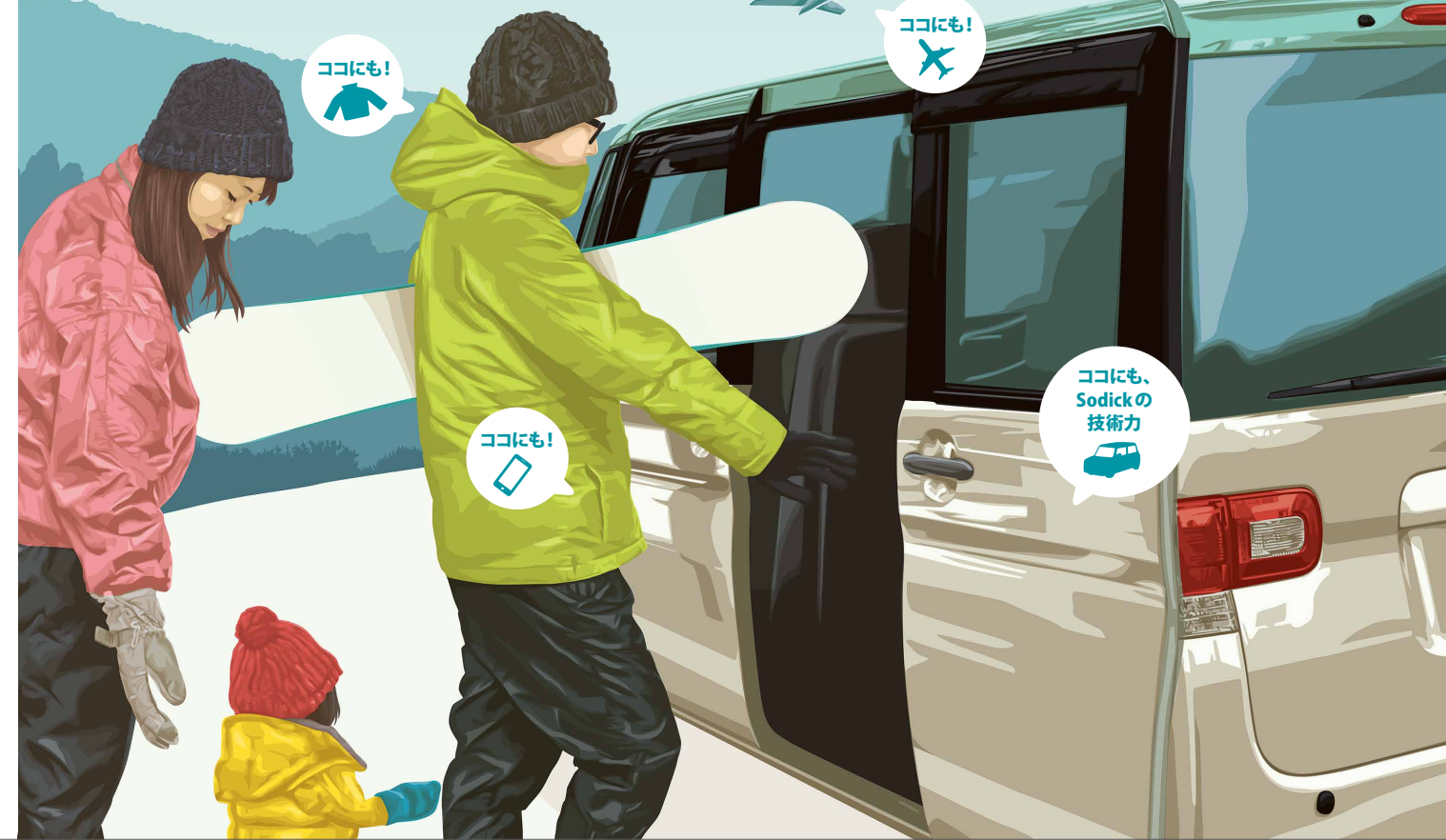
Sodick

Sodick times

2017年3月期(第41期)中間報告書
2016年4月1日～2016年9月30日

特集

アルミニウム合金対応射出成形機
「ALM450」の技術に迫る



Sodick
株式会社 ソディック

〒224-8522
横浜市都筑区仲町台三丁目12番1号
TEL:045-942-3111

飛躍に向けて 経営基盤の構築を進めてまいります

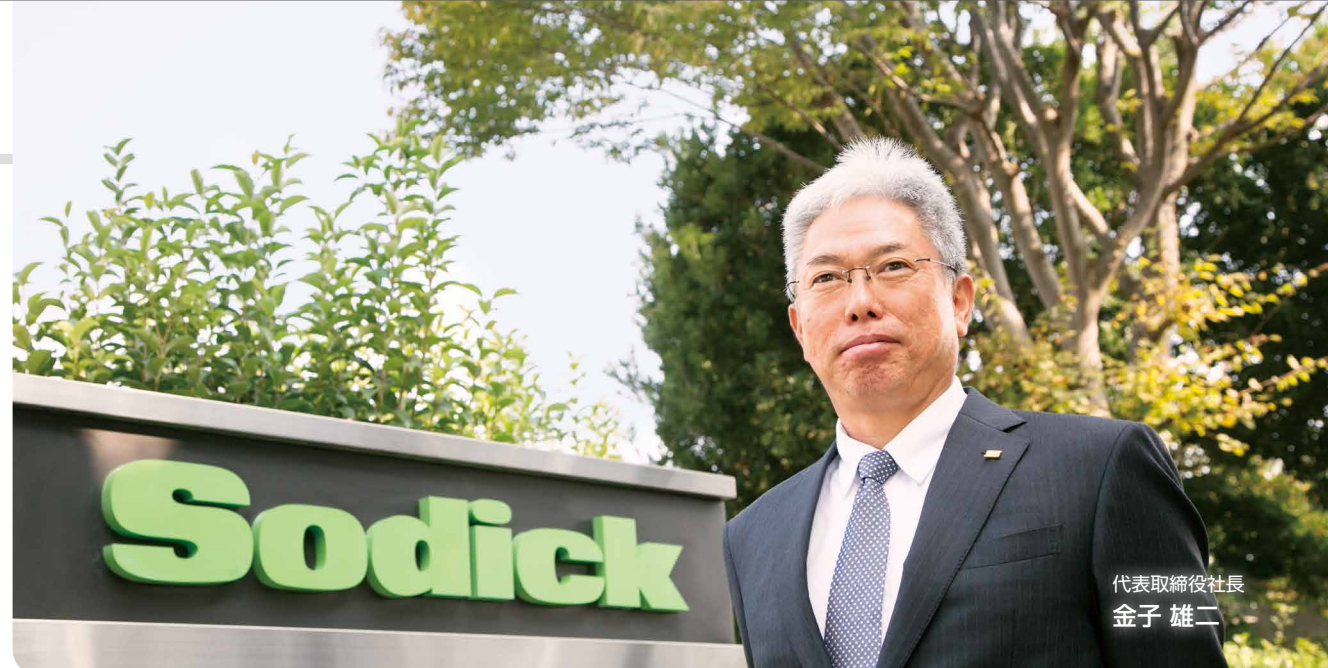
2017年3月期第2四半期の業績について

国内ではものづくり補助金が後押しとなり、第1四半期以降、受注・売上ともに持ち直しの動きが見られました。海外では、北米は自動車関連からの需要にやや一服感が見られましたが、医療機器・航空宇宙関連の需要が引き続き堅調に推移しました。欧州は、ロシア等で減速感が見られましたが、全体的には底堅く推移しました。中国は高精度な機械の需要の回復が見られましたが、東南アジアでは経済減速の影響などにより依然として厳しい状況が継続しました。第2四半期の業績については、売上高は概ね計画(8月10日 業績予想修正)通りに推移しましたが、為替が急速に円高に推移したことにより営業外費用において為

替差損を計上した結果、経常利益、当期純利益については大幅な減益となりました。

取り組みと成果について

工作機械事業においては、4月より欧米地域で精密金属3Dプリンタ「OPM250L」の販売を開始するなど積極的な営業活動を展開致しました。産業機械事業においては、世界初となるアルミ合金対応の射出成形機を開発し、新たな需要の創出を図るなど、中長期的成長に向けた取り組みができたと思います。食品機械事業においては、今年4月に加賀事業所で新工場の稼働を開始し、拠点集約による生産効率の向上を図ったほか、研究室を新設し研究開発機能を強化しました。



代表取締役社長
金子 雄二

通期の業績見通しについて

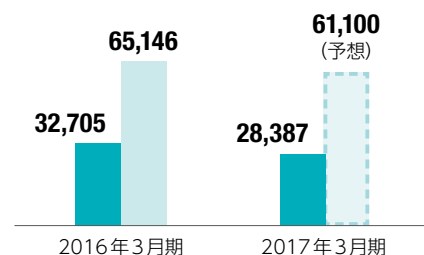
通期の業績見通しについては、英国のEU離脱問題や米国での大統領選挙結果など、世界経済に及ぼす影響が懸念されるほか、欧州・中東での地政学リスクや為替変動リスク等もあり依然として先行きに不透明感があります。下期に

おいては、引き続き厳しい経営環境が予想されますが、足元では総じて受注状況が回復傾向にあり、特に中国では、スマートフォンや車載関連向けの高精度機の需要の増加が見込まれています。また日本、欧米の先進国市場においても、航空宇宙、医療機器、自動車関連向けの需要が底堅いことから引き続き堅調に推移する見通しです。

連結損益計算書の概要 (単位:百万円)

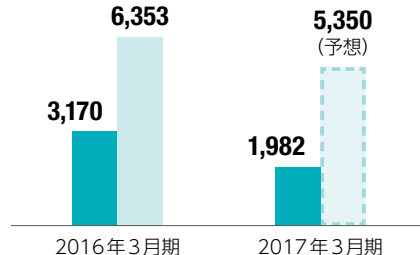
売上高

■ 第2四半期累計 ■ 通期



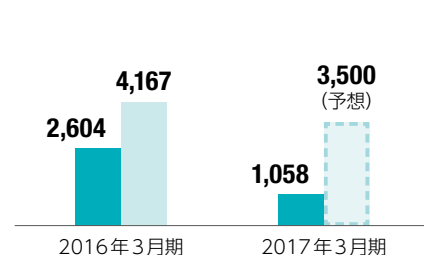
営業利益

■ 第2四半期累計 ■ 通期

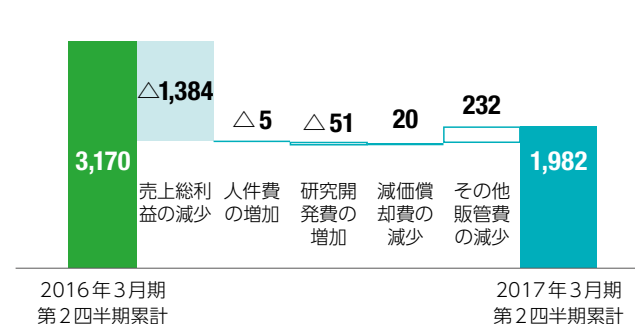


親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益

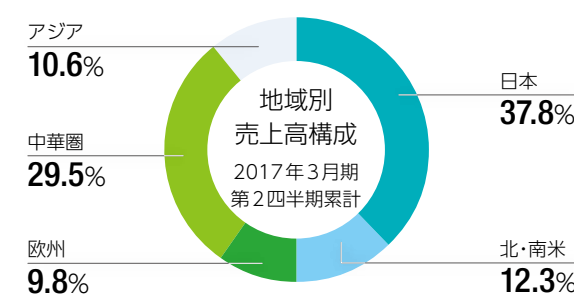
■ 第2四半期累計 ■ 通期



営業利益変動要因



地域別の売上高構成



SPECIAL FEATURE

開発者インタビュー

アルミニウム合金対応射出成形機

「ALM450」の技術に迫る

世界初V-LINE® Direct Castingアルミニウム合金対応 射出成形機「ALM450」の特徴についてお伝えいたします。

Q.1 射出成形機「ALM450」開発のねらいを教えてください。

POINT 1 鑄造から成形へ

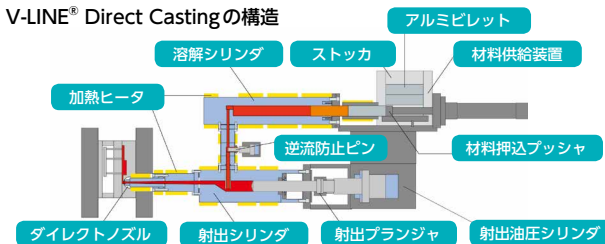
軽金属造形はダイカストによるものが一般的で、古くから比較的複雑な形状でも高精度な生産ができる鑄造法として発展してきました。しかし、プラスチック成形部品に比べると、歩留まり率が極端に低くなる課題がありました。当社では、プラスチック射出成形機で培った技術を活用し、2002年に業界初のマグネシウム合金用の射出成形機を開発。一方で、アルミニウムにおいては、溶けたアルミが金属を溶かしてしまう問題から、同方法でのアルミニウム合金用の射出成形機の実用化は困難とされてきました。

このたび、当社では、溶融アルミにも溶損*しにくいシリンダの開発に成功し、世界初のV-LINE® Direct Casting

によるアルミニウム合金対応の射出成形機を開発し、歩留まりを向上したアルミニウム合金の「射出成形」を実現しました。従来のダイカスト製造法の課題を解決し、アルミニウムへの材料置換を促進する革新的製造方法の確立に成功しています。

*溶融アルミが金属と反応して浸食してしまう現象

● V-LINE® Direct Castingの構造



用語解説

射出成形法
材料を加熱溶融して、あらかじめ閉じられた金型の中に射出し、成形品を作る加工方法。

V-LINE®
可塑化スクリュー（溶解シリンダ）と射出プランジャ（射出シリンダ）を独立した工程に分離したソディック独自の可塑化（溶融）・射出方式。工程を分離したことで、①材料の溶融状態、②計量された材料の密度、③充填工程での実充填量、が非常に安定する優れた性能を発揮します。

ダイカスト(Die Casting)
特殊鋼で作られた金型に溶融金属（アルミニウム、亜鉛、マグネシウムなど）を高圧で注入し、迅速に凝固させ取り出す鑄造方法のひとつ。



ALM450

アルミニウムを溶かす溶解シリンダと金型に射出する射出シリンダを備えた V-LINE® Direct Casting 構造。それぞれの工程を分離化することで効率よく、正確な成形を実現している。

Q.2 射出成形機「ALM450」の特徴について教えてください。

POINT 2 V-LINE® Direct Casting 構造により 複雑かつ精密な造形品の製造が可能に!

アルミニウムを溶かす溶解シリンダと金型に射出する射出シリンダを備えています。溶解と射出の工程を分離化することで、金型に流しこむ金属の量が安定し、正確な成形が効率良く行えるのが特徴です。

一般的な鑄造法では、ダイカストマシンと溶解炉が分かれており、溶けたアルミニウムを金型へ注入する際、空気を巻き込み造形品に巣と呼ばれる気泡が発生してしまいます。

「ALM450」は独自のシール構造を採用することにより、空気を巻き込むことなく、アルミニウムを金型に射出することができるので、高品質なアルミニウム造形品が得られます。

POINT 3 優れたユーザビリティ

成形の度に必要量のアルミニウムを溶かすため、効率よく省エネに環境にやさしいことも特徴です。また、溶解炉・保持炉が不要な構造であるため、省スペース化および安全性の向上も実現できます。

Q.3 射出成形機「ALM450」の今後の展開について教えてください。

タブレットやスマートフォンなど情報端末機器の筐体や、部品の軽量化、コンパクト化を目指す自動車部品等のマーケットでの需要を見込んでいます。中長期的には自動車エンジンや変速機などにも対応できる大型機を開発し、需要の拡大を図ってまいります。

射出成形機事業部
副部長
辻 慎二郎



トピックス

新製品

大型3次元造形物に対応するラージ・サイズ・モデル 精密金属3Dプリンタ「OPM350L」発売開始

今回新たに開発した精密金属3Dプリンタ「OPM350L」は、多様化する金属3Dプリンタへのニーズに対応するため、2014年10月から販売している「OPM250L」の大型化製品としてラインナップしました。「OPM250L」同等の加工面質、加工精度を実現しつつ、より大型の造形物に対しても加工速度が飛躍的に向上しています。



展示会

精密金属3Dプリンタなど最新鋭の機械を 世界三大工作機械見本市、IMTS2016・JIMTOF2016に出展

2年に一度開催される世界最大級の工作機械見本市であるIMTS2016（9月12～17日、米国シカゴにて開催）及びJIMTOF2016（11月17～22日、東京ビッグサイトにて開催）に最新鋭の製品群を出展いたしました。IMTSでは4月から欧米で販売活動を開始した精密金属3Dプリンタ「OPM250L」を展示。加工実演及びプレゼンテーションを行い多くの引き合いを頂きました。JIMTOFでは初お披露目となる精密金属3Dプリンタ「OPM350L」と、OPM金型専用射出成形機「MR30」による「プラスチック成形革命」を実演したほか、ユーザーの生産性向上に貢献する新技術・新製品をご紹介し、活発な営業活動を展開いたしました。



IMTS2016 当社ブース

業績・財務ハイライト

当第2四半期の業績について

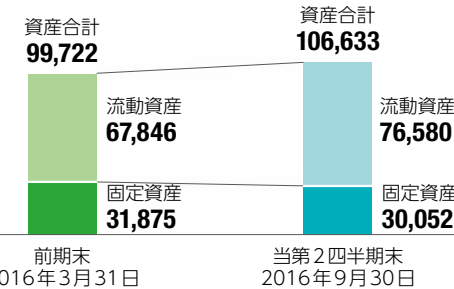
国内外ともに期後半にかけて売上・受注ともに回復したものの為替が急激に円高に推移したこと等により前年同期比減収減益。

売上高
283億87百万円

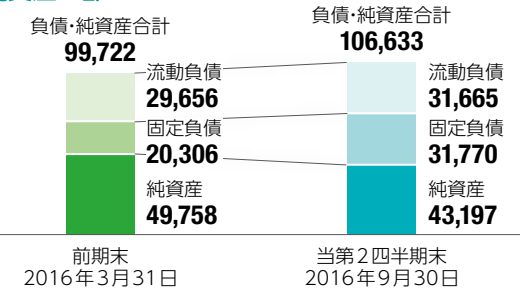
営業利益
19億82百万円

連結貸借対照表の概要 (単位:百万円)

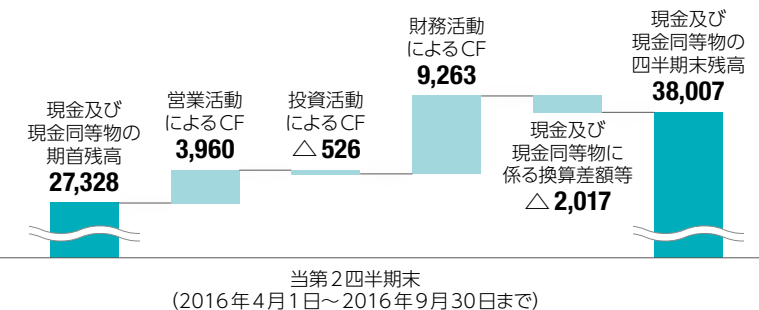
資産の部



負債・純資産の部



連結キャッシュ・フロー(CF)計算書の概要 (単位:百万円)



POINT B/S:為替レートが円高に推移した為、外貨建て資産が目減りしたものの、新株予約権付社債80億円の調達により、総資産は前期末比で増加(前期末比+69億11百万円)。手元現預金が潤沢にあり、流動性も200%以上を維持しています。

POINT C/S:営業CFは仕入債務、前受金の増加により39億60百万円のプラス、また、財務CFは新株予約権付社債の発行及び長期運転資金の調達により、92億63百万円のプラスとなり、その結果、現金及び現金同等物の四半期末残高は380億7百万円となりました(前期末比+106億79百万円)。

IRサイトでさらに詳しく

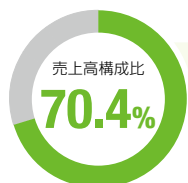
IRサイトでは、決算短信、決算説明資料など更に詳しい決算情報をご覧になれます
http://www.sodick.co.jp/ir/ir_note.html

ソディックIR

検索



セグメント別の概況 (単位:百万円)

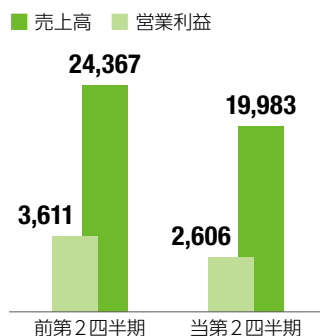


工作機械事業

放電加工機、マシニングセンタ、金属3Dプリンタ等の開発・製造・販売

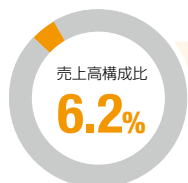
自動車、航空機、医療機器関連からの需要が堅調。

国内では、政府の補助金政策等の影響もあり、自動車関連の需要が好調に推移しました。北米では航空機、医療機器関連が牽引し、底堅い需要が継続し、欧州でも、ドイツを中心に航空機、自動車関連からの需要が堅調に推移しました。中国では、自動車及びスマートフォン関連から、高精度な機械の需要が増加しましたが、その他アジア地域では、タイヤインドネシアの自動車関連需要や、韓国でのスマートフォン関連需要が低調でした。また、為替レートが円高に推移したことにより売上高は前年同期比で減少しました。



売上高
19,983百万円

営業利益
2,606百万円

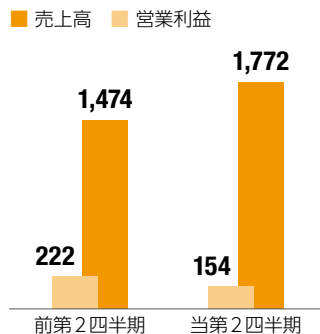


食品機械事業

麺製造プラント、製麺機等の食品機械及びその応用製品の開発・製造・販売

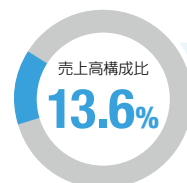
調理麺の品質向上のための設備投資需要が引き続き増加。

国内では、コンビニエンスストアやスーパーマーケット及び外食チェーン店向けに、調理麺の品質向上を目的とした設備投資需要が継続しました。製麺機の技術を応用し、製菓業界、包装米飯や包装惣菜業界向けにも需要先の拡大を進めております。海外でも、中国での冷凍麺用設備の需要増加などもあり、好調に推移しています。



売上高
1,772百万円

営業利益
154百万円

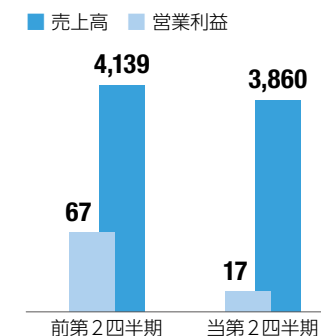


産業機械事業

射出成形機等の開発・製造・販売

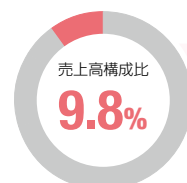
自動車、スマートフォン関連などで、高付加価値部品向けの需要が増加。

国内では、自動車関連の車載部品、コネクタ、ヘッドライト部品やスマートフォン関連のレンズなど、高付加価値部品向けの需要は堅調となりました。海外は、北米で医療機器、自動車関連を中心に堅調であり、中国でもスマートフォン関連のレンズやコネクタ向けを中心に高精度な成形機の需要が増加しており、好調に推移しています。



売上高
3,860百万円

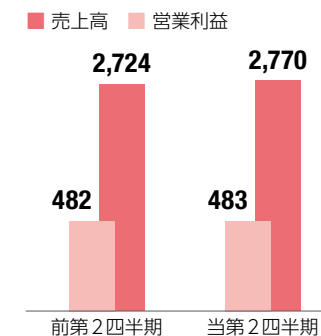
営業利益
17百万円



その他事業

プラスチック成形品等の製造・販売、リニアモータ応用製品、セラミック製品及びその制御機器、LED照明等の開発・製造・販売、当社製品等のリース

精密金型・精密成形事業で引き続き自動車関連からの好調な需要が見られたほか、セラミックス事業も順調に推移しました。



売上高
2,770百万円

営業利益
483百万円

IRサイトでさらに詳しく

IRサイトでは、決算短信、決算説明資料など更に詳しい決算情報をご覧になれます
http://www.sodick.co.jp/ir/ir_note.html

ソディックIR

検索





当社は、株主・投資家の皆様との建設的な対話を促進するため、様々な切り口から、わかりやすい情報開示に努め、IRツールの充実を図っています。
今回は、当社の企業価値向上の取り組みのひとつとして、テレビCMオンエアについてご紹介します。

ソディックのテレビCM「ウクレレ篇」を制作、オンエアいたしました。

～鉄腕アトム楽曲の世界観と企業スローガン“世の中に無いものを創る”を融合～



CMストーリー

レーザー光が何かを形作っています。そこから取り出されるのは、ソディックが誇る精密金属3DプリンタOPM250Lで作られた鈍色のウクレレ。

金属3Dプリンタで本当に音を奏でる楽器ができるという驚き。「音を生み出す技術力。」と「知らない未来がここにある。」という強いメッセージを表現しました。



精密金属3Dプリンタで創られたウクレレで、鉄腕アトムの楽曲を奏でるannie

制作に込めたメッセージ

今回のCMは、精密金属3Dプリンタで実際に音を奏でるウクレレを製作することによって、当社の高い技術力と“世の中に無いものを創る”という開発精神を表現しています。

CM内で金属製のウクレレを弾き、歌うのはアーティストannie（アニー）。世界で初めてであろう精密金属3Dプリンタで創ったウクレレが音を奏でるという「今までに誰も知らない未来」を、このCMを通じて発信します。鉄腕アトムに描かれた時代があ頃の夢だとしたら、このウクレレはこれからの機械技術の夢のはじまりである、という想いを込め、先駆的な商品を表現しました。

このCMを通して、お客様、株主様、投資家様、学生とご家族様、工作機械や産業機械、食品機械等をご存知ない方にも広く当社を知っていただくきっかけになればと考えています。

当社HPでCM動画を配信中です。ぜひご覧ください!

<http://www.sodick.co.jp/news/detail.php?newsid=252>

スマートフォンの方はこちらから



拠点情報／会社情報 (2016年9月30日現在)

世界に広がる主要拠点

本社 生産拠点 開発拠点 販売・サービス拠点

- 加賀事業所
- 福井事業所
- 宮崎事業所
- 東京ショールーム
- 本社/技術・研修センター
- 英国 Sodick Europe Ltd.
- ドイツ Sodick Deutschland GmbH
- タイ Sodick (Thailand) Co., Ltd.
- 中国 Sodick (H.K.) Co., Ltd.
- 中国 Shanghai Sodick Software Co., Ltd.
- 米国 Sodick America Corporation (San Jose)
- 米国 Sodick, Inc. (Chicago)
- シンガポール Sodick Singapore Pte., Ltd.
- 台湾 Sodick (Taiwan) Co., Ltd.
- 中国 Sodick Amoy Co., Ltd.
- 中国 Suzhou Sodick Special Equipment Co., Ltd.

会社概要

会社名 株式会社ソディック
所在地 本社
〒224-8522
横浜市都筑区仲町台三丁目12番1号
TEL:045-942-3111 (代表)
設立 昭和51年8月3日
資本金 207億7,575万6,958円
代表者 金子 雄二
従業員数 660人 (連結3,299人)
連結子会社 22社
持分法適用の関連会社 1社

役員

代表取締役会長	古川 利彦	社外取締役	津上 健一*
代表取締役社長	金子 雄二	社外取締役	栗原 俊明*
代表取締役副社長	古川 健一	社外取締役	古田 勝久*
専務取締役(上席執行役員)	高木 圭介	常勤監査役	保坂 昭夫
専務取締役(上席執行役員)	松井 孝	常勤監査役	わたぬま 渡貴
専務取締役(上席執行役員)	藤川 操	監査役	ながしま 隆*
専務取締役(上席執行役員)	佐野 定男	監査役	しもやま 和人
常務取締役(上席執行役員)	大迫 健一	監査役	おおくま 和夫
常務取締役(上席執行役員)	前島 裕史		おおくま 富夫
常務取締役(上席執行役員)	塚本 英樹		

*東京証券取引所の定める独立役員であります。